

## 平成 30 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化講座・教授
氏名 Name	真嶋潤子
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	<p>(1) 年少者日本語教育における DLA の精緻化とテスト研修への応用</p> <p>(2) 「外国人技能実習制度」と日本語教育のための基礎研究</p> <p>(3) CEFR-CV とその応用</p> <p>(4) 科研費成果公開促進費による出版作業</p>
<p><u>(1) 年少者日本語教育における DLA の精緻化とテスト研修への応用</u></p> <p>・口頭発表：「DLA のダイナミック・アセスメントとしての可能性 -アセスを通じて教師力を伸ばす-」2018 年度日本語教育学会春季大会（東京外国語大学、2018.5.26.）発表・パネルセッション④ 予稿集（菅長理恵、高橋登、真嶋潤子、櫻井千穂、小山幾子）＜共同研究者＞石井恵理子、伊東祐郎、小林幸江、中島和子（2018） pp.50-59.</p> <p>・箕面市外国人教育研究協議会にて「DLA 研修会」講師（対象：市内公立小中学校教員）（2019.1.16.）（大阪大学と箕面市連携事業）</p> <p>・「DLA 研修会」於：箕面市国際交流協会 MAFGA（対象：外国人ボランティア、学生、院生等）（2019.2.27.）</p> <p><u>(2) 「外国人技能実習制度」と日本語教育のための基礎研究</u></p> <p>・受託研究成果報告会を行なった。タイトル：「外国人技能実習生と日本語教育」於：大阪大学中之島センター（参加者 100 名超）（2018.7.16.）</p> <p><u>(3) CEFR-CV とその応用</u></p> <p>CEFR と CEFR-CV に関する研究成果を取り入れた発表を行なった。</p> <p>・基調講演「日本語教育における「評価」-何のために何をもって「評価」するのか-」カナダ日本語教育振興会 CAJLE 2019 年次大会 於：Huron University College, London, Ontario, Canada.（2018.8.21.）</p> <p>・教師研修会を担当。タイトル：「日本語教育における CEFR のインパクトとその深化-初版 2001 から追加版 2018 へ-」カナダ日本語教育振興会 CAJLE 2019 年次大会 於：Huron University College, London, Ontario, Canada.（2018.8.22.）</p> <p>・口頭発表。タイトル：「日本の外国語教育への CEFR のインパクト」Japanologentag ドイツ語圏日本学研究会 於：ベルリン自由大学、ドイツ（2018.8.31.）</p> <p>・南山大学ヨーロッパ研究センター、ラテンアメリカ研究センター主催、外国語学部共催講演会で講演とパネルディスカッションに登壇した。講演テーマ：「「移動の世紀」の CEFR-CV -「Mediation 仲介」の背景理念を中心に」（2019.1.12.）</p> <p>・国際研究会「CEFR の理念と現実」にて招待パネリストをつとめる。発表テーマ「日本語教育における CEFR と CEFR-CV の受容」於：京都大学人間総合科学研究科（2019.3.2.）</p>	

・学術論文「外国語教育における到達度評価制度について-CEFR 初版 2001 から 2018 補遺版 CEFR-CV まで-」『外国語教育のフロンティア』第 2 号 大阪大学言語文化研究科 pp. 1-13.

(4) 科研費成果公開促進費による出版作業

・2018 年度科研費成果公開促進費 (JSPS KAKENHI Grant Number JP18HP5254) により、真嶋潤子編著『母語をなくさない日本語教育は可能か -一定住二世児の二言語能力-』大阪大学出版会 を出版した。(2019. 2. 28.)

(5) その他

招待講演を行なった。 “Digitalization in Learning Japanese as a Second Language in Japan: focusing on Learners’ living conditions.” Japan Science Days 2018, at LSI, Ruhr-Universität Bochum, ボーフム大学、言語研究所、ドイツ (2018. 7. 6.) (講演は英語)